



京大360°視点

米国政権の政策転換と サステナビリティへのインパクト

～日本社会の課題から再度、 サステナビリティのあり方を再考する～

これまで、グローバル経済の進展とともに、日本社会や企業において、サステナビリティを組み込むことの重要性が高まり推進されてきました。2025年1月のトランプ政権の誕生とともに、大きな転換点を迎えてます。

米国のパリ協定からの再離脱、WHOからの脱退などの影響は、サステナビリティに大きなインパクトをもたらす可能性があります。この状況下で、将来の日本社会の課題やあり方をどう意識し、サステナビリティへの取り組みについて考えます。アカデミズムを始め、政府や自治体、金融セクターなど、各界の識者が360°全方位から論じます。是非ご参加ください。

※本シンポジウムは、本年6月30日～7月4日にかけて京都大学にて開催されるThe 43th ASEAN+3 Bond Market Forum (ABMF) Meetingと関連して開催されます。ABMF Meetingは、ADB(アジア開発銀行)、XBRL(eXtensible Business Reporting Language)、京都大学経営管理大学院、京都大学東南アジア地域研究研究所の共同開催です。

日時 2025年6月26日木
13:00～15:40

方式 オンライン開催
(Zoomウェビナー)

定 員 300名程度

参 加 費 無料

申込・詳細 [https://business.form-mailer.jp/
fms/105c6a6c290613](https://business.form-mailer.jp/fms/105c6a6c290613)

申込期限 2025年6月26日(木)13:00まで



広井 良典
京都大学
名誉教授



西山 真司 氏
京都市観光政策監



池田 賢志 氏
前金融庁
チーフ・サステナブル
ファイナンス・オフィサー



松古 樹美 氏
株式会社レゾナック・
ホールディングス
執行役員
最高サステナビリティ
責任者



木元 大祐
みずほ証券株式会社
執行役員/
CSO・CDO・CSuO



香月 康伸
みずほ証券株式会社
サステナビリティ
推進部ディレクター



幸田 博人
京都大学
経営管理大学院
特別教授

共催：京都大学経営管理大学院(みずほ証券寄附講座)、アジア開発銀行

協賛：みずほ証券株式会社、京大オリジナル株式会社

13:00 – 13:05 開会挨拶①	澤邊 紀生(京都大学経営管理大学院 院長・教授)
13:05 – 13:10 開会挨拶②	浜本 吉郎(みずほ証券株式会社 取締役社長)
13:10 – 13:35 基調講演①	「持続可能世界への展望—AIシミュレーションと日本の位置」 広井 良典(京都大学 名誉教授)
13:35 – 14:00 基調講演②	「金融機関が取り組むサステナビリティ」 木元 大祐(みずほ証券株式会社 執行役員/CSO・CDO・CSuO)
14:00 – 14:25 基調講演③	「京都観光の現状とこれから～持続可能な京都観光の実現に向けて～」 西山 真司 氏(京都市観光政策監)
14:25 – 15:35 パネル ディスカッション	「日本社会の課題から再度、サステナビリティのあり方を再考する ～米国の政策転換のインパクトも踏まえて～」 池田 賢志 氏(前金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー) 松古 樹美 氏(株式会社レゾナック・ホールディングス 執行役員 最高サステナビリティ責任者) 香月 康伸(みずほ証券株式会社 サステナビリティ推進部ディレクター／ 京都大学経営管理大学院 客員教授) 西山 真司 氏(京都市観光政策監) 幸田 博人(京都大学経営管理大学院 特別教授)【モデレーター】
15:35 – 15:40 閉会挨拶	幸田 博人(京都大学経営管理大学院 特別教授)

企業金融と資本市場(みずほ証券)寄附講座

●概要

「企業金融と資本市場(みずほ証券)寄附講座」は、京都大学で現在最も長い歴史を誇る寄附講座である。金融・資本市場の健全な発展を展望し、企業金融とそれに関連する分野の高度な研究と、その実務への応用、及び関連業界で活躍できる人材の教育を促進すること等を目的として、2005年度から経済学研究科に設置された。(2006年度より経営管理大学院へ移管)。

このような目的にもとづき、企業金融の現場で培った実践的な知識を教育面で活用するため、実務家を寄附講座教員・研究員として採用

し、経営管理大学院の大学院生および当該テーマに関心を持つ一般学部学生、大学院生を念頭に置いた教育体系を構築して、理論と実務のバランスのとれた教育を行ってきてている。

研究者、実務家を問わず、多くの魅力ある講義が経営管理大学院、経済学研究科および経済学部において開講され、実務的な知識を解説するものから、高度に理論的な内容まで、多彩な授業を提供している。本講座の教育・研究の成果は、経営管理大学院とみずほ証券が共催する公開シンポジウムや企業向け講習会等を通じて、広く社会に発信している。

●寄附者・設置期間

みずほ証券株式会社

2005年4月1日～2029年3月31日

●教員

澤邊 紀生 経営管理大学院長

Asli M. COLPAN 教授

山田 和郎 准教授

幸田 博人 特別教授

此本 臣吾 特別教授

徳賀 芳弘 客員教授(京都大学名誉教授)

御立 尚資 客員教授

柴崎 健 客員教授

香月 康伸 客員教授

大越 覚史 特定准教授

ASEAN+3債券市場フォーラム(ABMF)のご紹介(山寺智ADB経済調査地域協力局アドバイザー)

ASEAN+3債券市場フォーラム(ABMF)は、ADBが事務局を務めるアジア債券市場育成イニシアティブ(ABMI)の一環として、2010年に設立されました。ASEAN加盟10カ国に日本、中国、韓国を加えた13カ国の官民の専門家が参加し、域内の債券市場の標準化と調和化を推進することを目的としています。年3回定期的に会合を開催し、域内の債券市場の発展と統合に向けた議論と協力を続けています。

ABMFは、以下の2つのサブフォーラムで構成されています：

1. 各国の債券市場における規制や市場慣行の情報収集と分析を行い、共通の理解を深めることを目指す。

2. 取引慣行や決済メッセージフォーマットの調和化を図り、クロスボーダー取引の効率化を促進する

提言を行うため、各との詳細な制度調査を行なっており、「ASEAN+3債券市場ガイド」として、各国の債券市場に関する詳細な情報を提供しています。また、ABMFは「ASEAN+3マルチカレンシー債券発行フレームワーク(AMBIF)」を策定し、域内のプロ投資家向け債券市場の共通化を推進しています。近年では、持続可能な金融やデジタル技術の活用にも注力しており、グリーンボンドやデジタル債券市場の発展に貢献しています。

【注意事項】

■Zoomの仕様や使い方に関するお問い合わせには、お答えしかねます。また、お客様の環境等が原因で発生した、視聴できないといったトラブルにつきましては個別の対応はございません。予めご了承ください。

■次の行為はお控えください。

- 本イベントの全部又は一部を第三者に提供する行為
- 本イベントの録音、録画、撮影、その他複製行為
- 同時に二台以上のデバイスで本サービスを利用する行為